事業計画書

令和８年度　事業計画

社会福祉法人　宝寿会

事業計画書

令和８年度

社会福祉法人　宝寿会

1．事業目標

「生産性向上と組織構造改革による財務体質の強化」

法人の理念である「思いやり、安全安心、やすらぎ」を堅持しつつ、将来にわたり持続可能な法人経営を実現するため、コストの適正化と組織改革を推進する。特に今年度は、「生産性向上」と「財務体質の強化」を二本柱とし、施設ごとの縦割り運営から、法人全体で連携した機動的な経営体制への転換を図る。また、老朽化した施設設備の計画的な修繕を進め、利用者及び職員にとって安全な環境の維持に努める。

2．達成項目

教育訓練の体系化	組織・財務管理の一元化	外国人材の多角的活用と育成
サービス提供体制の効率化	**生産性向上と組織構造改革による財務体質の強化**	コスト構造の見直し
施設設備の計画的保全	AI 活用による生産性向上	法令遵守と内部監査の強化

3．法人運営

委員会名	活　動　目　標	活動回数
理　事　会	法人運営に関する重要事項を決議するため、定款第 12 条に基づき開催する。	年 2 回～3 回
評 議 員 会	法人運営に係る重要事項を審議し、議決するため、定款第 26 条に基づき開催する。	随　時
監 事 監 査	計算書類等の監査並びに事業報告を含む業務監査を行う。	年 1 回
施 設 長 会 議	事業所の稼働状況、職員の入退職状況等を報告するとともに、運営上の課題について協議する。	月 1 回
本 部 会 議	法人運営に関する取決め及び重要事項の調整・決定を行う。	週 1 回
内部監査委員会	法人運営の適正化及び法令遵守の徹底を図るため、内部監査を実施し、業務改善につなげる。	随　時

4．法人役員研修

対　象	目　　的	研　修
法人役員	社会情勢や動向を踏まえ、社会福祉法人経営者が果たすべき役割と取り組むべきことなどを理解し習得する。	法人役員研修

5. 令和８年度　法令研修・訓練　年間計画書

重点方針:

1. 義務化項目の完全実施と記録の徹底（BCP、虐待防止、感染症対策）
2. 実効性の高い訓練（BCPと防災訓練の連動、机上訓練と実地訓練の組み合わせ）
3. 障害・高齢分野の横断的学習（意思決定支援と虐待防止の統合）

月	研修・訓練テーマ	具体的内容・カリキュラム	対象・備考
4月	① 倫理・法令遵守・プライバシー保護 ② 認知症・障害特性の理解（基礎）	・ 法人理念と倫理綱領 ・ 個人情報保護とSNS利用の注意点 ・ 認知症ケアの基本（ユマニチュード等）	全職員 （新入職員は必須）
5月	① 感染症・食中毒予防（夏期） ② 感染症 BCP 訓練（机上）	・ 食中毒予防（手洗い・衛生管理） ・ 感染症発生時の初動シミュレーション（連絡網確認）	全職員 （施設系は年2回必須）
6月	① 高齢者・障害者虐待防止 ② 身体拘束廃止・適正化	・ 虐待の芽（不適切ケア）のチェック ・ 身体拘束の 3 要件と廃止への取り組み ・ 虐待防止委員会での事例検討共有	全職員 （施設系は年2回必須） （障害は意思決定支援含）
7月	① 接遇・マナー向上 ② ハラスメント防止（カスハラ含む）	・ 利用者・家族への言葉遣いと態度 ・ 職場内ハラスメント及びカスタマーハラスメント対策	全職員 （全サービス義務化）
8月	① 事故発生防止・リスクマネジメント ② 交通安全（訪問系重点）	・ ヒヤリハット分析と事故報告書の書き方 ・ 送迎・訪問時の交通安全と防衛運転	全職員 （訪問・定期巡回は必須）
9月	① 自然災害 BCP 訓練（実地・総合） ② 防災訓練（夜間想定）	・ BCP（業務継続計画）に基づく避難・参集訓練・発電機・備蓄品の確認 ・ 地域住民との連携確認	全職員 （BCP 訓練は年 1 回以上必須）
10月	① 精神保健・メンタルヘルス ② 権利擁護・意思決定支援	・ 職員のストレスマネジメント ・ 障害者支援における意思決定支援ガイドラインの活用	全職員 （障害支援事業は重点）

月	研修・訓練テーマ	具体的内容・カリキュラム	対象・備考
11 月	① 感染症・食中毒予防（冬期） ② 感染症 BCP 訓練（実地）	・ ノロウイルス・インフルエンザ対策 ・ PPE（防護服）着脱実技とゾーニング訓練 ・ BCP 発動基準の確認	全職員 （施設系は年 2 回必須）
12 月	① 高齢者・障害者虐待防止（2 回目） ② 身体拘束適正化（2 回目）	・ 上半期の事例振り返りと改善策 ・ アンガーマネジメント ・ 身体拘束ゼロへのケーススタディ	全職員 （施設系は年 2 回必須）
1 月	① ターミナルケア（看取り） ② 急変時対応・救命救急	・ 看取り期のケア方針と家族対応 ・ AED 操作と心肺蘇生法（BLS）	特養・GH・訪問看護定期巡回
2 月	① 認知症・精神科ケア（応用） ② 業務改善・生産性向上（DX）	・ BPSD（行動・心理症状）へのチームケア ・ ICT 活用による記録業務効率化の実践	全職員 障害・認知症対応型
3 月	① 自然災害 BCP 訓練（机上・見直し） ② 年度総括・次年度計画	・ 今年度の BCP 訓練の課題抽出と計画修正 ・ 次年度研修計画の周知	経営層 管理者防災・BCP 委員

令和 8 年度 新人職員研修計画（随時）

カテゴリ	研修項目	具体的内容・目的
法人理念	法人概要	・ 「思いやり、安全安心、やすらぎ」の理念共有
接遇・倫理	プライバシー保護 接遇	・ 個人情報保護、SNS 利用の注意点 ・ 利用者・家族への言葉遣い、身だしなみ
法令研修	虐待防止 身体拘束適正化	・ 虐待の定義と身体拘束廃止の 3 要件 ・ 不適切ケアのチェックリスト活用
法令研修	感染症対策 食中毒予防	・ 標準予防策（スタンダード・プリコーション） ・ ガウンテクニック実技
法令研修	BCP （業務継続計画）	・ 自然災害及び感染症発生時の初動対応 ・ 安否確認システムの使用方法

※ 法定研修（虐待防止、感染症、BCP 等）については、実施日時、内容及び出席者を記録し、5 年間保存する。実地指導（運営指導）における確認事項とする。

事 業 計 画 書

令和８年度
特別養護老人ホーム うぐいす荘

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安定した経営と組織作り」

安定した経営基盤の確立と、職員が誇りを持って働き続けられる強固な組織体制の構築を両立します。入居率の維持・向上による収益の安定化を図るとともに、ICT 等の活用による業務改善を推進し、多職種が連携して専門性を発揮できる『選ばれる職場・選ばれる施設』を目指します。

2. 達成目標

入居率の維持・向上	雇用の維持・確保	生産性の向上に向けた業務改善
職員のスキル向上	**安定した経営と組織作り**	働き続けたい職場づくり
人材育成	多職種連携体制の構築	リスクマネジメントの強化

I. 安定した経営の推進

- **入居率の維持・向上**
  地域のニーズに応え、常に高い稼働率を維持することで、持続可能な経営を実現する。
- **生産性向上に向けた業務改善**
  業務フローの見直しや ICT 導入により、記録や間接業務の負担を軽減し、ケアに集中できる環境を整える。
- **リスクマネジメントの強化**
  安全管理体制を再構築し、事故防止とサービスの質を両立させ、施設としての信頼性を高める。

II. 活力ある組織と人材の育成

- **雇用の維持・確保及び働き続けたい職場づくり**
  福利厚生の充実や心理的安全性の確保に努め、離職を防ぐとともに、新たな仲間を惹きつける職場風土を醸成する。
- **多職種連携体制の構築**
  職種の垣根を越えた情報共有と対話を促進し、チーム一丸となって利用者一人ひとりを支える体制を強化する。
- **人材育成 ＆ スタッフのスキル向上**
  体系的な研修制度を運用し、職員個々の習熟度に応じたスキルアップを支援することで、専門性の高い職員集団を育成する。

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	・花見	10 月	・秋祭り
5 月	・ドライブ ・ショッピング	11 月	・紅葉狩り ・ショッピング

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
6 月	・町内グルメ	12 月	・クリスマス会
7 月	・七夕まつり ・利用者会議	1 月	・初詣 ・利用者会議
8 月	・納涼祭	2 月	・節分祭
9 月	・敬老会　・ショッピング	3 月	・ひな祭り
毎月	・誕生会　　・お出かけ　　・お楽しみクラブ		
偶数月	・遊ビリDay	奇数月	・お菓子販売
6 月・9 月・12 月・3 月(予定)	・スイーツバイキングバイキング(厨房職員手作り)		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4 月・7 月 10 月・2 月 (第 3 水曜日) ※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動の防止 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT 導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画 (BCP)委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画と BCP 計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの提供 ・ハラスメント対策(知識と予防の周知)
	・褥瘡予防委員会	・予防と継続した教育の実施
毎月 1 回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ(健康リスクやルール遵守)

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　名	対 象	研修担当
4 月	入浴介助・褥瘡対策に関する研修	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
5 月	認知症ケア(BPSD)	全職員	外部講師
6 月	防火・非常災害対策に関する訓練	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
7 月 3 月	口腔ケア研修	介護職員	外部講師
10 月	事故発生の防止対策研修	全職員	安全対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	職員・利用者	防火管理者

※　地域において防災訓練が開催される際は、参加を検討する。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理　由
キュービクル式高圧受電設備交換工事	30,000,000	設備老朽化の為

事業計画書

令和８年度
うぐいす荘　短期入所者生活介護

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安定した経営と組織作り」

安定した経営基盤の確立と、職員が誇りを持って働き続けられる強固な組織体制の構築を両立します。稼働率の維持・向上による収益の安定化を図るとともに、ICT 等の活用による業務改善を推進し、多職種が連携して専門性を発揮できる『選ばれる職場・選ばれる事業所』を目指します。

2. 達成目標

稼働率の維持・向上	雇用の維持・確保	生産性の向上に向けた業務改善
働き続けたい職場づくり	安定した経営と組織作り	リスクマネジメントの強化
多職種連携体制の強化	人材育成	職員のスキル向上

Ⅰ 安定した経営の推進

- **稼働率の維持・向上**
  ご利用者・ご家族のニーズ、居宅ケアマネの信頼に応え、満足感からリピートを生む「高稼働の好循環」を維持することで、持続可能な経営を実現する
- **生産性向上に向けた業務改善**
  業務フローの見直しや ICT 導入により、記録や間接業務の負担を軽減し、ケアに集中できる環境を整える
- **リスクマネジメントの強化**
  安全管理体制を再構築し、事故防止とサービスの質を両立させ、事業所としての信頼性を高める

Ⅱ 活力ある組織と人材の育成

- **雇用の維持・確保及び働き続けたい職場づくり**
  福利厚生の充実や心理的安全性の確保に努め、離職を防ぐとともに、新たな仲間を惹きつける職場風土を醸成する
- **多職種連携体制の構築**
  他事業所、事業所内も ICT ツールを活用し、リアルタイムでの情報共有を促進することでチーム一丸となって利用者一人ひとりを支える体制を強化する。
- **人材育成及び職員のスキル向上**
  体系的な研修制度を運用し、職員個々の習熟度に応じたスキルアップを支援することで、専門性の高い職員集団を育成する。

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	・花見	10 月	・秋祭り
5 月	・ドライブ ・ショッピング	11 月	・紅葉狩り ・ショッピング

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
6 月	・町内グルメ	12 月	・クリスマス会
7 月	・七夕まつり ・利用者会議	1 月	・初詣 ・利用者会議
8 月	・納涼祭	2 月	・節分祭
9 月	・敬老会　・ショッピング	3 月	・ひな祭り
毎月	・誕生会　　・お出かけ　　・お楽しみクラブ		
偶数月	・遊ビリDay	奇数月	・お菓子販売
6 月　9 月　12 月　3 月(予定)	・　スイーツバイキング（厨房職員手作り）		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4 月・7 月 10 月・2 月 （第 3 水曜日） ※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動の防止 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT 導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画 （BCP）委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画と BCP 計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの提供 ・ハラスメント対策（知識と予防の周知）
	・褥瘡予防委員会	・予防と継続した教育の実施
毎月 1 回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ（健康リスクやルール遵守）

5. 研修

Ⅰ　法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ　施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　名	対　象	研修担当
4 月	入浴介助・褥瘡対策に関する研修	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
5 月	認知症ケア（BPSD）	全職員	外部講師
6 月	防火・非常災害対策に関する訓練	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
7 月 3 月	口腔ケア研修	介護職員	外部講師
10 月	事故発生の防止対策研修	全職員	安全対策委員会
11 月	防火・非常災害対策に関する訓練	職員・利用者	防火管理者

※　地域において防災訓練が開催される際は、参加を検討する。

事 業 計 画 書

令和８年度
うぐいす荘 通所介護事業所

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安心して楽しく通えるデイサービス」

サービスの質の向上と安定した事業運営の強化を図り、専門性向上や多職種連携を推進することで、利用者が安心して楽しく通えるデイサービスの実現を目指します。

2. 達成目標

コミュニケーションの充実	個別ケアの強化	情報共有と多職種連携（家族・CMも）の強化
職員のスキルアップ	安心して楽しく通えるデイサービス	安心・安全な環境づくり
身体機能の維持と向上	レクリエーションの充実	稼働率の向上

Ⅰ サービスの質の向上

- コミュニケーションの充実及びレクリエーションの充実
  ご利用者との会話や関わりを大切にし、思いや小さな変化に気づける関係を作るとともに、交流を通して楽しくいきいきと過ごせる環境づくりに努める
- **個別ケアの強化**
  画一的なサービスではなく、生活歴や希望、心身の状況に応じたケアを提供しその人らしい生活を支援する
- **身体機能の維持と向上**
  体操や機能訓練、日常生活動作を取り入れ、無理なく継続できる形で身体機能の維持と向上を図る

Ⅱ 安定した事業運営の強化

- **職員のスキルアップ**
  研修や事例共有により知識や介護技術の向上を図り、対応力向上に繋げる
- **情報共有と多職種連携の強化**
  家族や介護支援専門員を含めた多職種連携により、継続的かつ適切な支援を行う
- **安心・安全な環境づくり**
  事故防止や感染対策、環境整備を徹底し、安心して利用できる環境をつくる
- **稼働率の向上**
  関係機関との連携を強化し、安定した受け入れにつなげるとともに、サービスの質の向上と信頼関係の構築により、継続利用と新規利用の確保を目指す

3. 年間行事計画

季節を感じられる行事や食を楽しむ企画を取り入れ、昔親しんだ活動や新しい体験にも取り組み、交流や達成感を通して心身の活性化と利用者満足度の向上を目指します。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見　・おやつ作り ・買い物（施設内）	10月	・おやつ作り ・運動会
5月	・スイーツバイキング ・運動会	11月	・たこ焼きパーティ ・喫茶（かみかわ倶楽部）

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
6 月	・あじさい見学 ・焼きそばパーティ ・買い物(施設内)	12 月	・クリスマスケーキ ・忘年会
7 月	・焼きそばパーティ ・買い物(施設内) ・マッサージ	1 月	・書初め大会 ・新年会　・ぜんざいの日
8 月	・夏祭り　・おやつ作り	2 月	・節分祭・たこ焼きパーティ ・喫茶(かみかわ倶楽部)
9 月	・演芸会　・おやつ作り ・習字	3 月	・ひな祭り　・おやつ作り ・習字
毎月	・誕生会　・クラフト制作　・ゲーム		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4 月・7 月 10 月・2 月 (第 3 水曜日) ※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動の防止 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT 導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画 (BCP)委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画と BCP 計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの実践 ・ハラスメント対策(知識と予防の周知)
	・褥瘡予防委員会	・予防と継続した教育の実施
毎月 1 回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ(健康リスクやルール遵守)

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研　修　名	月	対 象	研修担当
入浴介助・褥瘡対策に関する研修	4 月	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
認知症ケア(BPSD)	5 月	全職員	外部講師

研　修　名	月	対 象	研修担当
防火・非常災害対策に関する訓練	6 月	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
口腔ケア研修	7 月 3 月	介護職員	外部講師
事故発生の防止対策研修	10 月	全職員	安全対策委員会
防火・非常災害対策に関する訓練	11 月	職員・利用者	防火管理者

- 地域において防災訓練が開催される際は、参加を検討する
- スキルアップ研修 （4 月・6 月・8 月・10 月・2 月）
- 外部講師（作業療法士・理学療法士）を招き、専門家の視点から身体介護やリハビリ等について学び、デイ職員全員のスキルアップにつなげる。

事 業 計 画 書

令和８年度
うぐいす荘 居宅介護支援事業所

社会福祉法人　宝寿会

1　事業目標

「ケアマネジャーが無理なく働き続けられる事業所づくり」

安定した事業運営と質の高いケアマネジメントの両立を目指します。入退院支援や困難事例への対応が増加する中においても、業務負担の偏りを軽減し、職員同士が相談・協力しながら支援を行える体制を整備します。多職種及び地域との連携を強化し、ケアマネジャーの専門性向上を図るとともに、リスクマネジメントの強化にも取り組みます。利用者及び家族の意向を尊重した質の高いケアマネジメントを維持するとともに、業務の効率化と標準化を進めることで、安定した事業運営につなげるよう努めます。

2　達成目標

事業運営の安定化	併設事業所との 連携強化	働きやすい環境整備
多職種連携の強化	**ケアマネジャーが無理なく働き続けられる事業所づくり**	質の高いケアマネジメントの提供
ケアマネジャーの成長と育成	リスクマネジメントの徹底	地域との連携推進

Ⅰ　安定した経営の推進

- **事業運営の安定化**
  業務内容を標準化し、担当業務量の調整を行い、継続的に安定した支援を提供できる体制を構築する。
- **リスクマネジメントの徹底**
  困難事例の共有、記録・書類管理の徹底及び法令遵守により、事故及びトラブルの未然防止に努める。
- **働きやすい環境整備**
  業務量の調整や効率化・簡素化を図り、緊急対応を一人で抱えない体制を整え、互いに相談や情報共有ができる環境を整える。
- **併設事業所との連携強化**
  役割を明確化し、相談・調整を円滑に行える関係づくりを行う。法人内資源を有効活用する。
- **多職種連携の強化**
  顔の見える関係を継続し、ICT ツールを活用して情報共有の質の向上に努めるとともに、入退院時及び急変時の連携強化を図る。
- **地域との連携推進**
  地域資源の把握と活用し支援に繋げる。地域会議・連絡会へ参加し困難事例を地域で支える仕組みづくりに参画する。見守りサポート事業の継続し、地域貢献に取り組む。

Ⅱ　専門性の向上と人材育成

- **ケアマネジャーの成長と育成**
  一人で抱え込まず、事例を通じた学びを定着させ、次の支援に活かす。研修・自己研鑽も継続し、専門性の向上を図るとともに、判断力及び対応力の底上げを行う。将来を見据えた役割を明確にし、職員の定着を図る。
- **質の高いケアマネジメントの提供**
  利用者・家族の意向を反映した支援を実践するためアセスメント力の向上とモニタリングの徹底や困難事例に対してチームで支える支援をおこなう。

3　各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4月・7月 10月・2月 （第3水曜日） ※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動が無い対応 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画（BCP）委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画とBCP計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの提供 ・ハラスメント対策（知識と予防の周知）
	・褥瘡予防委員会	・予防と継続した教育の実施
毎月1回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ（健康リスクやルール遵守）

4　研修

I.　法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

II.　施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研　修　名	月	対　象	研修担当
入浴介助・褥瘡対策に関する研修	4月	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
認知症ケア（BPSD）	5月	全職員	外部講師
防火・非常災害対策に関する訓練	6月	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
口腔ケア研修	7月 3月	介護職員	外部講師
事故発生の防止対策研修	10月	全職員	安全対策委員会
防火・非常災害対策に関する訓練	11月	職員・利用者	防火管理者

・　地域において防災訓練が開催される際は、参加を検討する

III. 介護支援専門員研修

① 外部研修

対人援助職としてのスキルを身につけ、ケアマネジメントの実践力を高め、利用者の自立支援に向けたケアプラン作成や多職種連携を目指す。

研修主催	研修内容	回数
介護支援専門員協会神崎郡支部	気づきの事例検討会 ケアマネジメント研修会 ケアプラン勉強会	月１回 年２回 月１回
神崎郡在宅医療・介護連携支援センター	顔の見える多職種研修会	年６回
町内ケアマネ連絡会	研修会・事例研究	年２回
介護支援専門員協会	スキルアップ研修	研修案内

② 内部研修

介護支援専門員として資質の向上と人材育成につながる機会となるよう、月１回、事業所内で勉強会を実施する。

事 業 計 画 書

令和８年度
地域密着型特別養護老人ホーム
う ぐ い す 荘

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安定した経営と組織づくり」

安定した経営基盤の確立と、職員が誇りを持って働き続けられる強固な組織体制の構築を両立します。入居率の維持・向上による収益の安定化を図るとともに、ICT 等の活用による業務改善を推進し、多職種が連携して専門性を発揮できる『選ばれる職場・選ばれる施設』を目指します。

2. 達成目標

入居率の維持・向上	雇用の維持・確保	生産性の向上に向けた業務改善
働き続けたい職場づくり	**安定した経営と組織づくり**	リスクマネジメントの強化
多職種連携体制の構築	人材育成	スタッフのスキル向上

Ⅰ 安定した経営の推進

- **入居率の維持・向上**
  地域のニーズに応え、常に高い稼働率を維持することで、持続可能な経営を実現する。
- **生産性向上に向けた業務改善**
  業務フローの見直しや ICT 導入により、記録や間接業務の負担を軽減し、ケアに集中できる環境を整える。
- **リスクマネジメントの強化**
  安全管理体制を再構築し、事故防止とサービスの質を両立させ、施設として の信頼性を高める。

Ⅱ 活力ある組織と人材の育成

- **雇用の維持・確保及び働き続けたい職場づくり**
  福利厚生の充実や心理的安全性の確保に努め、離職を防ぐとともに、新たな仲間を惹きつける職場風土を醸成する。
- **多職種連携体制の構築**
  職種の垣根を越えた情報共有と対話を促進し、チーム一丸となって利用者一人ひとりを支える体制を強化する。
- **人材育成 ＆ スタッフのスキル向上**
  体系的な研修制度を運用し、職員個々の習熟度に応じたスキルアップを支援することで、専門性の高い職員を育成する。

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・秋祭り
5月	・ドライブ ・ショッピング	11月	・紅葉狩り ・ショッピング
6月	・町内グルメ	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会　・ショッピング	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会　　・お出かけ　　・お楽しみクラブ		
偶数月	・遊ビリDay	奇数月	・お菓子販売
6月　9月　12月　3月(予定)	・スィーツバイキング(　厨房職員手作り)		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4月・7月 10月・2月 (第3水曜日) ※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動が無い対応 ・研修の計画とマニュアルの検証
	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画 (BCP)委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画とBCP計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの提供 ・ハラスメント対策(知識と予防の周知)
	・褥瘡予防委員会	・予防と継続した教育の実施
毎月1回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ(健康リスクやルール遵守)
7・11・3月	・運営推進会議	・顔の見える関係づくりと活動報告

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研　修　名	月	対 象	研修担当
入浴介助・褥瘡対策に関する研修	4 月	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
認知症ケア（BPSD）	5 月	全職員	外部講師
防火・非常災害対策に関する訓練	6 月	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
口腔ケア研修	7 月 3 月	介護職員	外部講師
事故発生の防止対策研修	10 月	全職員	安全対策委員会
防火・非常災害対策に関する訓練	11 月	職員・利用者	防火管理者

※ 地域において防災訓練が開催される際は、参加を検討する

事 業 計 画 書

令和８年度
グループホーム ゆ う ゆ う

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安心を軸とした安全で快活な暮らし」

入居者一人ひとりの生活スタイルを尊重した支援を目指します。そのため、チームケアによる情報共有を徹底し、安全対策を講じることで真の安心を提供します。同時に、生産性向上や「ムリ・ムダ・ムラ」の排除による経費節減を図り、基盤を整備します。職員自身の自己管理を通じてサービスの質を安定させ、入居者及び職員の双方が快活に過ごせる環境を構築します。

2. 達成項目

生産性向上の理解と整備	ムリ・ムダ・ムラをなくした 業務の改善	チームケアによるケアの共有
職員の自己管理の徹底	**「安心」を軸とした 安全で快活な暮らし**	入居者が安心して生活できる 安全対策
家族の想いの実現に 向けた支援	その人に合った 生活スタイルの支援	個々のスキルを高め、 認知症の理解を深める

3. 年間行事計画

一人ひとりの入居者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、活気ある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・お花見ドライブ	10月	・秋祭り　・習字の会 ・ミニ運動会
5月	・ドライブ ・昼食会	11月	・紅葉狩りドライブ ・神河町文化祭
6月	・ドライブ ・習字の会	12月	・クリスマス会
7月	・七夕まつり	1月	・お正月　とんど ・書初め
8月	・夏祭り	2月	・節分祭 ・お茶会
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・お花見
毎月	・誕生会　・お出かけ　・お茶会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

月	委員会名	活動目標
4月・7月 10月・2月 （第3水曜日）	・感染防止対策委員会	・発生時の適切な対応の周知 ・研修計画とマニュアルの検証
	・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会	・不適切なケア及び言動が無い対応 ・研修の計画とマニュアルの検証

※感染防止対策、安全対策委員会については、事案発生時は適宜委員会を開催	・生産性向上委員会	・創意工夫による業務の効率化 ・ICT 導入を活かした業務の見直し
	・業務継続計画（BCP）委員会	・感染・災害時の初動対応ツール作成 ・研修・訓練の計画と BCP 計画の検証
	・安全対策委員会	・事故再発防止策の検討と周知
	・サービス向上委員会	・誇りあるプロの接遇とケアの提供 ・ハラスメント対策（知識と予防の周知）
毎月 1 回	・安全衛生委員会	・安全意識の啓発により、労働災害を未然に防ぐ（健康リスクやルール遵守）
7 月・11 月・3 月	・運営推進会議	・活動報告による、地域との連携

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研　修　名	月	対 象	研修担当
入浴介助・褥瘡対策に関する研修	4 月	介護・看護職員	褥瘡予防委員会
認知症ケア（BPSD）	5 月	全職員	外部講師
防火・非常災害対策に関する訓練	6 月	職員・利用者	防火・防災管理者 業務継続計画委員会
口腔ケア研修	7 月 3 月	介護職員	外部講師
事故発生の防止対策研修	10 月	全職員	安全対策委員会
防火・非常災害対策に関する訓練	11 月	職員・利用者	防火管理者

※　地域において防災訓練が開催される時は、参加を検討する

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金　額	理　由
エレベーター補修費	3,000,000	開設後年数が経過し、主要部分の交換が必要なため
居室洗面台の水栓ユニットの交換	1,000,000	経年劣化により部品供給がなく、交換が必要なため

事 業 計 画 書

令和８年度
特別養護老人ホーム 夢 の 里

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「チーム力によるケアの質向上」

高齢化や入居者の重度化が進む中、質の高いケアを安定的に提供するためには、職員一人ひとりの専門性の向上と職種間の連携強化が不可欠です。外国人職員を含む多様な人材がそれぞれの役割を理解し、互いに尊重しながら協働できる体制を活かし、共通理解に基づく支援体制の構築を図ります。あわせて、情報共有の徹底、教育体制の充実、業務の標準化を推進することで、誰が担当しても安心して質の高いケアを提供できる体制を整備します。チーム全体で支える体制を確立し、入居者及び家族から信頼される施設運営を目指します。

2. 達成項目

職員定着と 働きやすい職場づくり	情報共有の徹底	教育・育成体制の強化
業務効率の向上	**チーム力による ケアの質向上**	多文化理解の促進
個別ケアの充実	医療連携の強化	事故防止とリスク管理

3. 年間行事計画

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	・花見外出(2 回)	10 月	・外食 ・子供会秋祭り
5 月	・ドライブ ・茹野小学校運動会見学	11 月	・紅葉狩り(外食) ・運動会
6 月	・ゲーム大会 ・ドライブ	12 月	・忘年会 ・クリスマス会
7 月	・七夕会 ・外出	1 月	・初詣(施設内・施設外) ・新年会(ゲーム大会)
8 月	・花火大会 ・縁日	2 月	・節分祭
9 月	・敬老会 ・外食	3 月	・ひな祭り会 ・ドライブ
毎 月	誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会において多職種が協働し、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適切な対応と施設内での適正な検討・管理を行うことを目的とする。	4 月 7 月 10 月 1 月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4 月 7 月 10 月 1 月
事故予防 対策委員会	事故の防止及び発生時の適切な対応を検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5 月 8 月 11 月 2 月

委員会名	活　動　目　標	活動回数
褥瘡予防委員会	褥瘡リスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	5月 8月 11月 2月
衛生管理委員会	労働災害の発生状況及び再発防止策を協議し、労働災害の未然防止を図ることを目的とする。	毎月
サービス向上委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善事項の提案及び周知徹底を図る。	6月 9月 12月 3月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	6月 9月 12月 3月
BCP委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	6月 12月
感染症対策委員会	感染症の予防及びまん延防止に関して協議し、各職員への周知徹底を図る。	5月 8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4月	・理念、倫理研修　　モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続の為の研修)
6月	・ハラスメントに関する研修　　・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修　・虐待防止に関する研修
9月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続の為の訓練)
10月	・感染症に関する研修
11月	・認知症に関する研修　・コミュニケーションに関する研修
12月	・ケアプランに関する研修　・看取りに関する研修
1月	・BCP(感染症に関する業務継続の為の研修と訓練)
2月	・救命処置研修(AED・心肺蘇生)
3月	・実技研修

※　本部研修(オンライン)は毎月実施し、職員全員が視聴する

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金 額	理　　由
電動ベッドへ入れ替え	3,000,000	職員の腰痛予防及び生産性向上を図るため。
電子錠制御盤交換	2,000,000	電子錠の不具合改善及び指導事項に対応するため。
非常用照明電池交換	500,000	特殊建物検査指摘事項及び指導事項に対応するため。
避難器具照明交換	2,500,000	不具合の改善及び指導事項に対応するため。
食器洗浄機	1,000,000	修繕費の増加及び部品供給終了に対応するため。
エアコン制御盤交換	1,000,000	空調管理機能の回復を図るため。
玄関自動ドア装置一式交換	450,000	老朽化による不具合を解消するため。

事業計画書

令和８年度
夢 の 里 短期入所者生活介護

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「利用者・家族の満足度の向上」

利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、安心・安全で快適な生活環境を整えることで、また利用したいと思っていただけるサービスを提供し、家族との信頼関係を築けるよう、接遇・マナーの向上、情報共有の強化及び安全管理の徹底を図り、利用者及び家族の満足度の向上に取り組む。

2. 達成項目

環境整備	接遇・マナー	職員教育
情報共有	**利用者・家族の満足度の向上**	安全管理
レク・行事の充実	家族連携	広報活動

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見ドライブ	10月	・ハロウィン ・秋祭り
5月	・ドライブ ・喫茶外出	11月	・紅葉狩り
6月	・ゲーム大会	12月	・イルミネーション点灯式 ・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕まつり	1月	・施設内初詣・正月遊び ・初詣外出
8月	・夏祭り	2月	・節分祭
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・ドライブ

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、やむを得ず身体拘束を行う場合の適正な対応と継続的な検証を行うことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待及び身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月 7月 10月 1月
事故予防対策委員会	事故の防止及び発生時の適切な対応について検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5月 8月 11月 2月
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い利用者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	5月 8月 11月 2月
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、労働災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

委員会名	活　動　目　標	活動回数
サービス向上委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案し、周知徹底を図る。	6月 9月 12月 3月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	6月 9月 12月 3月
BCP委員会	災害や感染症発生時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るため、BCPの策定・運用を行うことを目的とする。	6月 12月
感染症対策委員会	感染症の予防及びまん延防止について協議し、各職員への周知徹底を図る。	5月 8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4月	・理念、倫理研修　　モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続の為の研修)
6月	・ハラスメントに関する研修　　・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修　・虐待防止に関する研修
9月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続の為の訓練)
10月	・感染症に関する研修
11月	・認知症に関する研修　・コミュニケーションに関する研修
12月	・ケアプランに関する研修　・看取りに関する研修
1月	・BCP(感染症に関する業務継続の為の研修と訓練)
2月	・救命処置研修(AED・心肺蘇生)
3月	・実技研修

※　本部研修(オンライン)は毎月実施し、職員全員が視聴する

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

※　短期入所用ベッド10台の購入を予定しており、特別養護老人ホームの予算内に計上している。

事 業 計 画 書

令和８年度
夢 の 里
地域密着型通所介護事業所

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「安心の継続と生活機能の維持向上」

日常生活支援の継続を基盤とし、心身の状態に応じたきめ細やかな支援を提供することで、安心して通い続けられる環境づくりを進める。生活機能の維持・活用を通じて、意欲や役割を大切にした生活の実現を目指す。

2. 達成項目

基本的生活援助	家族との連携強化	社会的交流機会の確保
個別計画書に基づく支援	**安心の継続と 生活機能の維持向上**	生活機能維持訓練
安全管理の徹底	役割活動の推進	健康管理

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間をつくり、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・ハロウィン運動会
5月	・ドライブ	11月	・紅葉狩り
6月	・季節に沿ったレクリエーション	12月	・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕会 ・利用者会議	1月	・初詣 ・利用者会議
8月	・納涼祭	2月	・節分祭
9月	・敬老会(合同)	3月	・ひな祭り
毎月	・誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月 7月 10月 1月
事故予防 対策委員会	事故の防止と発生時の適切な対応を検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5月 8月 11月 2月
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い利用者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	5月 8月 11月 2月

委員会名	活　動　目　標	活動回数
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月
サービス向上委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底する。	6月　9月 12月 3月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	6月　9月 12月 3月
BCP 委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	6月 12月
感染症対策委員会	感染症の予防及び対策について協議し、職員への周知を図る。	5月　8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4月	理念、倫理研修　モラル、マナーに関する研修
5月	BPC（防災及び災害に関する業務継続の為の研修）
6月	ハラスメントに関する研修　食中毒に関する研修
7月	事故防止、発生時対応に関する研修
8月	権利擁護に関する研修　　身体拘束適正化のための研修 虐待防止に関する研修
9月	BCP（防災及び災害に関する業務継続の為の研修と訓練）
10月	感染症に関する研修と訓練
11月	認知症に関する研修　コミュニケーションに関する研修
12月	ケアプランに関する研修　看取りに関する研修
1月	BCP（感染症に関する業務継続の為の研修と訓練）
2月	救命処置研修（AED・心肺蘇生）
3月	実技研修

※　本部研修（オンライン）は毎月、職員全員が視聴

事 業 計 画 書

令和８年度
夢の里 居宅介護支援事業所

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「さらに選ばれる居宅介護支援事業所」

地域や利用者からの信頼をさらに築くため、透明性のある業務運営を徹底し、ケアプラン作成時には丁寧な説明と納得のいく支援を心がけます。実績を一つひとつ積み重ね、利用者やご家族とのコミュニケーションを大切にしながら、安心して生活できる環境づくりと、必要なサポートを適切に提供することを目指します。

2. 達成項目

ケアマネジメントの質の向上	職員の専門性の強化	法令遵守の徹底
事業所運営の安定化	さらに選ばれる 居宅介護支援事業所	利用者満足度の向上
自立支援の推進	業務効率化とICTの推進	地域連携の強化

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活　動　目　標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月　7月 10月 1月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月　7月 10月 1月
事故予防 対策委員会	事故の防止と発生時の適切な対応を検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5月　8月 11月 2月
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い利用者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	5月　8月 11月 2月
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月
サービス向上 委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される事業所を目指して改善を提案・周知徹底する。	6月　9月 12月 3月
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	6月　9月 12月 3月
BCP委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	6月 12月
感染症対策 委員会	感染症の予防及び対策について協議し、職員への周知を図る。	5月　8月 11月 2月

4. 研修

Ⅰ　法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ　施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4 月	理念、倫理研修　モラル、マナーに関する研修
5 月	BCP（防災及び災害に関する業務継続のための研修）
6 月	ハラスメントに関する研修　食中毒に関する研修
7 月	事故防止及び発生時対応に関する研修
8 月	権利擁護に関する研修　身体拘束適正化のための研修 虐待防止に関する研修
9 月	BCP（防災及び災害に関する業務継続のための研修と訓練）
10 月	感染症に関する研修と訓練
11 月	認知症に関する研修　コミュニケーションに関する研修
12 月	ケアプランに関する研修　看取りに関する研修
1 月	BCP（感染症に関する業務継続のための研修と訓練）
2 月	救命処置研修（AED・心肺蘇生）
3 月	実技研修

※　本部研修（オンライン）は毎月、職員全員が視聴

Ⅲ　介護支援専門員研修

対人援助職としてのスキルを身につけ、ケアマネジメントの実践力を高め、利用者の自立支援に向けたケアプラン作成や多職種連携の充実を図る。

研　修　内　容	研　修　主　催	回　数
ケアプラン指導研修	姫路市・地域包括支援センター	年 4 回

事 業 計 画 書

令和８年度

地域密着型特別養護老人ホーム　夢 の 里

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「個別性の尊重」

「個別性の尊重」を中心に入居者一人ひとりの人生や価値観に寄り添う介護を目指します。入居者が安心して暮らし、自分らしい生活を続けられるよう、日々の選択を尊重し、残存機能を活かす支援を行い、快適で安全な環境づくりや、個々に合わせたコミュニケーションを通じて、生活の質を高め、入居者の尊厳と豊かな暮らしを支えていきます。

2. 達成項目

入居者の満足度	心理的安全性の確保	意思決定の支援
プライバシーの尊重	**個別性の尊重**	生活の継続性
自立支援の徹底	環境調整	コミュニケーションの工夫

3. 年間行事計画

一人ひとりの入居者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見外出 ・買い物外出	10月	・秋祭り ・買い物外出 ・焼き芋
5月	・ドライブ ・カフェ KONOKA	11月	・紅葉狩り ・ドライブ
6月	・昔遊びの日 ・喫茶外出	12月	・クリスマス会 ・忘年会
7月	・七夕会 ・カフェ KONOKA	1月	・初詣 ・新年会 ・正月遊び
8月	・ミニ縁日 ・花火	2月	・節分祭 ・買い物外出
9月	・敬老会(合同) ・カフェ KONOKA	3月	・ひな祭り会 ・喫茶外出 ・カフェ KONOKA
毎月	・誕生会		

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体的拘束 適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月 7月 10月 1月

委員会名	活　動　目　標	活動回数
事故予防 対策委員会	事故の防止と発生時の適切な対応を検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5月　8月 11月 2月
褥瘡予防委員会	褥瘡の対象者やリスクの高い入居者に対する対応策や予防方法について協議し、発生防止と早期対応を図る。	5月　8月 11月 2月
衛生管理委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月
サービス向上 委員会	接遇全般の状況を報告・共有し、信頼される施設を目指して改善を提案・周知徹底する。	6月　9月 12月 3月
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	6月　9月 12月 3月
BCP 委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図る BCP の策定・運用を目的とする。	6月 12月
感染症対策 委員会	感染症の予防及び対策について協議し、職員への周知を図る。	5月　8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4月	・理念、倫理研修　　モラル、マナーに関する研修
5月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続のための研修)
6月	・ハラスメントに関する研修　　・食中毒に関する研修
7月	・事故防止、発生時対応に関する研修
8月	・権利擁護に関する研修 ・身体拘束適正化のための研修　・虐待防止に関する研修
9月	・BCP(防災及び災害に関する業務継続のための研修)
10月	・感染症に関する研修
11月	・認知症に関する研修　・コミュニケーションに関する研修
12月	・ケアプランに関する研修　・看取りに関する研修
1月	・BCP(感染症に関する業務継続のための研修と訓練)
2月	・救命処置研修(AED・心肺蘇生)
3月	・実技研修

※　本部研修(オンライン)は毎月、職員全員が視聴

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金　額	理　　由
ベランダ・屋上防水工事	500,000	防水機能の低下により浸水が生じ、居住環境の悪化を防ぐため。

事 業 計 画 書

令和８年度
夢 の 里 定期巡回

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「暮らしを守る巡回の力」

利用者の在宅生活を継続して支えるため、定期巡回サービスの特性を活かし、必要な支援を「目配り・気配り・心配り・手際よく・丁寧に」を軸に迅速かつ柔軟に提供します。職員間の情報共有と多職種連携を強化し、一人ひとりの暮らしに寄り添った支援を行うことで、安心して生活できる地域の在宅ケア体制を実現します。

2. 達成項目

利用者一人ひとりに 寄り添うケア	柔軟で迅速な 巡回サービスの提供	多職種連携による 在宅生活の支援
ICT 活用による 業務の効率化	**暮らしを守る巡回の力**	職員間の情報共有
職員の専門性と 接遇力の向上	利用者・家族との 信頼関係の構築	事故防止と感染症対策

3. 会議・委員会

法令遵守とサービス向上のため、会議・委員会を定期的に開催し、多職種で課題を検討するとともに、内容を周知し、業務改善へ反映して継続的に推進する。

委員会名	目　　的	開催月
介護・医療連携 推進会議	提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとして質の確保を図るとともに、地域の介護・医療課題を関係者で共有し、連携を推進することを目的とする。	6 月 12 月
感染症対策委員会	感染症及び食中毒の予防と発生時の適切な対応を図り、事業所内の感染リスクを最小限に抑えることを目的とする。	7 月 11月
虐待防止検討委員会	利用者の権利を守り、虐待及び身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	9 月 1 月

4. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	開催月
介護技術研修	職員の介護技術の向上と連携強化を図り、安心・安全で質の高い在宅ケアの実現につなげることを目的とする。	5月 9 月 1 月
接遇研修	利用者や家族への適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。	6 月 10 月 2 月
スマケア研修	ICT 活用を促進し、記録の適正化、利用者情報の把握及び職員間の情報共有の徹底を図ることを目的とする。	7 月 11 月 3 月

事 業 計 画 書

令和８年度

ケ ア ハ ウ ス　青山苑

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「地域とともに、選ばれ続けるケアハウスへ」

「三つの配り（目配り・気配り・心配り）」を軸に、高品質なケアの組織的な提供を確立します。また、完全シフト化とマニュアル整備を充実させ、個人の能力に依存しない仕組みを構築します。地域に開かれた「通いの場」を創出し、入居者が安心して自立した生活を継続できる環境と組織体制を構築します。

2. 達成項目

地域包括連携の強化	自立支援機能の明確化	入居前支援・相談機能の充実
安定した稼働率の確保	**地域とともに、選ばれ続けるケアハウスへ**	職員の専門性向上と育成
地域交流の推進	リスク管理と安心体制の構築	情報発信力の強化

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見	10月	・観月会・消防訓練
5月	・端午の節句・菖蒲湯 ・母の日	11月	・文化展 ・イルミネーション飾り
6月	・青山苑創立祭・父の日	12月	・クリスマス会・餅つき ・ゆず湯
7月	・七夕　・素麺流し	1月	・初詣 ・新年会
8月	・夏祭り	2月	・節分・バレンタイン
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・消防訓練

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　　的	開　催
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	年4回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防及び発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化を目的とする。	年4回以上
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	年1回以上
業務継続計画（BCP）委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	年2回

委員会名	目　　的	開　催
安全対策 委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止を目的とする。	年1回 以上
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正な対応を行うため、施設内で適切な議論及び管理を行うことを目的とする。	年4回 以上
生産性向上 委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	年４回
安全衛生 委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修・訓練テーマ	具体的内容・カリキュラム
5月 9月 1月	介護技術研修	職員の介護技術スキル向上と連携強化を図り、安心・安全で質の高いケアの実現につなげることを目的とする。
6月 10月 2月	接遇研修	利用者及び家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。
7月 11月 3月	スマケア研修	ICT 活用を促進し、記録の適正化と利用者情報の把握・職員間の情報共有を確実にすることを目的とする。

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金　額	理　　由
ガステーブルの購入	200,000	経年劣化により更新が必要なため
消防設備改修	1,500,000	消防設備点検結果に基づく改善のため
温冷配膳車	3,500,000	給食配膳の効率化を図るため

事 業 計 画 書

令和８年度
デイサービス テラス青山

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「シニアフィットネス」

「シニアフィットネス」の理念を継続し、従来のデイサービスの枠にとらわれない明るく楽しい雰囲気づくりをさらに深化させます。運動の質と専門性を高め、評価に基づく成果の可視化を図ることで、利用者の自立支援及び重度化防止に一層取り組みます。あわせて、高齢者が年を重ねても心身ともに健康で、生き生きと自分らしい生活を住み慣れた地域で継続できるよう支援します。

2. 達成項目

運動プログラムの充実	生活機能向上	モチベーションの維持
職員の専門知識とスキル向上	**シニアフィットネス**	健康チェックとモニタリング
認知症予防	利用者ニーズの把握	安全対策

3. 年間行事計画 （併設ケアハウス行事に参加する）

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・花見・たけのこ掘り	10月	・観月会・消防訓練
5月	・端午の節句・菖蒲湯 ・母の日	11月	・文化展 ・イルミネーション飾り
6月	・青山苑創立祭・父の日	12月	・クリスマス会・餅つき
7月	・七夕　・素麺流し ・BCP 訓練	1月	・初詣 ・新年会
8月	・夏祭り	2月	・節分・バレンタイン
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・消防訓練

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　　的	開　催
安全対策委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止に努めることを目的とする。	3ヶ月 1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月 1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月 1回

委員会名	目　　的	開　催
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化に努めることを目的とする。	3ヶ月1回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

研修名	研 修 内 容	実施
パワートレーニング機器の適正使用研修	高齢者に対するパワートレーニング機器の正しい使用方法、安全管理、事故防止について学ぶ。	年1回 採用時
身体機能検査実施研修	TUG、握力、片脚立位の正しい測定手順を確認するとともに、禁忌事項、安全配慮、測定誤差を防ぐポイント及び評価結果の活用方法について学ぶ。	年1回
デュアルタスク活用研修	運動と認知課題を組み合わせたデュアルタスクの基本を理解し、高齢者に適した課題の設定方法、難易度調整、安全な実施方法及び実践方法について学ぶ。	年1回
送迎時感染対策研修	送迎業務における感染リスクを軽減するため、乗車前の体調確認、検温、車内換気、座席配置、マスク着用及び手指衛生の徹底方法について学ぶ。	年1回 採用時

6. 購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金　額	理　由
下肢メドマ(ロングタイプ)	200,000	血行促進及びリラクゼーションを図るため。
マシン	200,000	運動メニューの充実を図るため。
椅子・テーブル	100,000	定員増員に対応するため。

7. その他

1. ウォーターサーバーの設置
2. 血圧計・体温計・運動ツール(ボール・セラバンド)

事 業 計 画 書

令和８年度
青山苑ヘルパーステーション

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「思いに寄り添うサービスを」

利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「目配り・気配り・心配り・手際よく・丁寧に」を軸に、地域住民から「青山苑のヘルパーなら安心」と言われるプロ意識に基づいた接遇を実践します。また、ヘルパーの働きやすい環境づくりと人材育成を進め、職員間および他職種との円滑な情報共有体制を整備します。併せて、サービスの質と経営の持続性を両立させる安定運営を目指します。

2. 達成項目

訪問品質の標準化と安全	利用者満足度の向上	在宅生活の継続サポート
現場対応力の強化	**思いに寄り添うサービスを**	自立支援・重度化防止
継続可能な経営	自立支援の促進	他職種との情報共有

3. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　　的	開　催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	3ヶ月1回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	3ヶ月1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	3ヶ月1回
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	3ヶ月1回
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	3ヶ月1回
ハラスメント対策委員会	ハラスメント防止と安全な職場環境の確保を図り、職員・利用者・家族間の良好な関係維持を目的とする。	3ヶ月1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	3ヶ月1回
安全衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月

4. 研修

Ⅰ 法人研

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。
実施する。

月	研修・訓練テーマ	具体的内容・カリキュラム
5月 9月 1月	介護技術研修	職員の介護技術スキル向上と連携強化を図り、安心・安全で質の高い在宅ケアの実現につなげることを目的とする。
6月 10月 2月	接遇研修	利用者や家族との適切な対応方法を学び、信頼関係の構築やサービス向上に必要なコミュニケーションを習得する。
7月 11月 3月	スマケア研修	ICT活用を促進し、記録の適正化と利用者情報の把握・職員間の情報共有を確実にすることを目的とする。

事 業 計 画 書

令和８年度
サービス付き高齢者向け住宅
宝 寿 の 郷

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「笑顔と信頼のある地域に選ばれる長屋へ」

入居者の高齢化・重度化の課題を踏まえ、お元気な方や介護度の低い方の入居も進め、誰もが集える元気な長屋を目指します。稼働率向上や利用料の見直しにより経営の安定を図り、長屋くらぶやコーヒーサロンなど日々の楽しみも大切にしながら、笑顔と信頼に満ちた地域に必要とされる長屋を実現します。

2. 達成項目

確実な入居計画による 稼働率の向上	独自行事の充実による 入居者満足度の向上	入居者家族との 信頼関係の構築
職員の介護力向上と 適材適所の人員配置	**笑顔と信頼のある 地域に選ばれる長屋へ**	利用料の見直し及び 業務改革による経営の安定化
働きやすい職場環境づくり	長屋からの地域に向けた 情報発信の強化	快適で安全な住環境の整備

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	・お花見(行事食)(4 日)	10 月	・広畑天満宮秋季大祭(17 日) (行事食)
5 月	・端午の節句(行事食)(5 日) ・夢前川川まつり(24 日)	11 月	・お楽しみ運動会(7 日) ・避難訓練(中旬)
6 月	・熱中症対策開始 ・カラオケ大会(20 日)	12 月	・イルミネーション点灯(7 日) ・クリスマス会(12 日)
7 月	・七夕(行事食)(7 日) ・コーラスボランティア(18 日)	1 月	・廣畑天満宮初詣(
8 月	・夏祭り(22 日) ・運営推進会議(25 日)	2 月	・節分(行事食)(3 日) ・運営推進会議(16 日)
9 月	・長寿お祝いの会(19 日)	3 月	・ひな祭り(行事食)(3 日) ・避難訓練(中旬))
火・木・土	・長屋くらぶ	月・水・金	・コーヒーサロン

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　　的	開　催
安全対策委員会	事故防止委員会は事故の未然防止と発生時の適切対応を図り、対策と再発防止の実施を目的とする。	4 月　7 月 10 月 1 月

委員会名	目　　的	開　催
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	5月 8月 11月 2月
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月　7月 10月 1月
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防と発生時の適切対応を図り、施設内の感染リスク最小化を目的とする。	6月 12月
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	5月 8月 11月 2月
サービス向上委員会	接遇・法令遵守(ハラスメント)や介護サービスの質の向上に向けて、相対的なサービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	4月　7月 10月 1月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	5月 8月 11月 2月
事故予防対策委員会	事故の防止と発生時の適切な対応を検討し、対策と再発予防を目的とする。	5月 8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　内　容
4月	・理念・倫理・法令遵守についての研修
5月	・接遇・マナー向上についての研修
6月	・介護保険・ケアプランに関する研修
7月	・感染症・食中毒の予防についての研修
8月	・事故防止・発生時対応に関する研修
9月	・緊急時・救急処置に関する研修(AED・心肺蘇生)
10月	・身体拘束・虐待防止に関する研修
11月	・認知症に関する研修
12月	・介護技術・実技研修
1月	・ターミナルケア・看取り研修
2月	・福祉用具に関する研修
3月	・ハラスメントに関する研修

事 業 計 画 書

令和８年度
デイサービスセンター　宝寿やすらぎ

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「経営の安定」

デイサービスにおいては、安定した利用者確保に努め、継続的な利用につながる運営を行うことで、安定した事業運営を目指します。そのため、サービスの質の向上に努め、利用者満足度の向上、継続利用の促進及び新規利用者の確保につなげます。あわせて、利用者の心身機能の維持・向上及び生活の質の向上を支援し、収入の安定化と向上を図ります。

2. 達成項目

楽しみのある活動提供による 利用者満足度の向上	個別機能訓練の充実と 継続的な実施	情報共有を徹底した チームケアの強化
空き曜日の利用促進による 利用率の向上	**経営の安定**	利用回数の増加と 継続利用の促進
研修実施による 職員のスキルアップ	安定した利用確保による 経営基盤の強化	利用者のQOL向上に向けた 支援の充実

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみの習慣が継続できるよう、季節に応じた行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	・お花見カフェ	10月	・お出かけ
5月	・カラオケ大会	11月	・季節の作品作り
6月	・ゲーム大会	12月	・イルミネーション点灯 ・クリスマス会
7月	・七夕	1月	・季節の作品作り
8月	・運営推進会議	2月	・節分祭 ・運営推進会議
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り ・写真展(1年を振り返って)

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会において多職種が協働し、効果的に事業を展開する。

委員会名	目的	開催
安全対策委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止に取り組むことを目的とする。	4月7月10月1月
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	5月8月11月2月
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月7月10月1月
感染症対策委員会	感染症及び食中毒の予防と発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化を目的とする。	6月12月
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時においても介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	5月8月11月2月

委員会名	目　　的	開 催
サービス向上委員会	接遇及び法令遵守(ハラスメント対策)並びに介護サービスの質の向上に向けて、サービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	5月 8月 11月 2月
事故予防対策委員会	事故の防止と発生時の適切な対応を検討し、再発防止を図ることを目的とする。	5月 8月 11月 2月

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 内 容
4月	・理念・倫理・法令遵守についての研修
5月	・接遇・マナー向上についての研修
6月	・介護保険・ケアプランに関する研修
7月	・感染症・食中毒の予防についての研修
8月	・事故防止・発生時対応に関する研修
9月	・緊急時・救急処置に関する研修(AED・心肺蘇生)
10月	・身体拘束・虐待防止に関する研修
11月	・認知症に関する研修
12月	・介護技術・実技研修
1月	・ターミナルケア・看取り研修
2月	・福祉用具に関する研修
3月	・ハラスメントに関する研修

事 業 計 画 書

令和８年度
特別養護老人ホーム 四季の郷

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「経営の安定化と収益向上」

開設 4 年目を迎えるにあたり、昨年度の事業目標をさらに発展させ、組織力の強化を図るとともに、入居者に選ばれる魅力ある施設づくりを推進します。また、職員の人材確保と育成、生産性向上を意識した働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、経営の安定化を図りながら、地域に信頼され、選ばれ続ける施設運営の実現を目指します。

2. 達成項目

職員の専門性向上 (介護技術の向上)	外部への施設アピール(情報発信)の強化	新規入居者獲得の継続
入居者と家族との 関係性の構築	**経営の安定化と収益向上**	生産性向上を意識した職員が働きやすい環境づくり
稼働率を意識した施設運営	組織力の強化	各ユニットが 共通の目的を持つ

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4 月	お花見	5 月	ドライブ(外食)
6 月	アニマルセラピー	7 月	七夕まつり
8 月	夏まつり	9 月	敬老会、創立記念日
10 月	ドライブ	11 月	紅葉狩り
12 月	クリスマス会	1 月	初詣
2 月	節分祭	3 月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　　的	開　催
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4 月　7月 10 月　1月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4 月　7月 10 月　1月
事故予防対策 委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止に努めることを目的とする。	4 月　7月 10 月　1月
感染症対策 委員会	感染症や食中毒の予防及び発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化を目的とする。	毎月 1 回

委員会名	目　　的	開　催
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い入居者に対する情報共有及び対応を行い、発生防止と早期対応を図る。	毎月１回
食事サービス委員会	健康管理に配慮し、食事内容や食形態に対応するとともに、多職種連携により行事食や楽しい雰囲気づくりを行う。	毎月1回
入所判定委員会	入居希望者の可否判断及び優先順位を決定し、入居までの流れを円滑に進める。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
災害対策(BCP)委員会	利用者及び職員の安全確保のため、緊急時対応体制を整備し、防災教育を通じて災害対応力の強化を図ることを目的とする。	4月　7月 10月　1月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	4月　7月 10月　1月
サービス向上委員会	接遇・法令遵守(ハラスメント)や介護サービスの質の向上に向けて、総体的なサービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
広報活動委員会	入居者の様子を写真等で記録し、家族へ近況報告を行うとともに、ホームページも活用して施設情報を発信する。	4月　7月 10月　1月
レク行事委員会	入居者に季節に応じた行事等を企画・実施し、生活の活性化を図る。	毎月1回

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　　修　　名	対　象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守(ハラスメント)・接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束適正化及び虐待防止に関する研修①	全職員	介護主任
7月	認知症に関する研修	全職員	介護主任
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災(BCP)研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア、看取り研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険制度及びケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束適正化及び虐待防止に関する研修②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

事 業 計 画 書

令和８年度

四 季 の 郷

短期入所生活介護事業所

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「選ばれるサービスの提供」

施設開設から4年目を迎えるに当たり、利用者に安心・安全に利用していただき、喜ばれるサービス(イベント等)の企画・実施に取り組む。それにより、稼働率の向上を目指すとともに、四季の郷短期入所生活介護事業所を外部に広く周知していく。

2. 達成項目

職員の専門スキル向上 (介護技術の向上)	外部へのアピール	新規利用者獲得の継続
入居者と家族との 関係性の構築	**選ばれるサービスの提供**	定着率の向上
稼働率を意識する	各イベントの充実	職員が共通の目的を持つ

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を持ち、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見	5月	ドライブ(外食)
6月	アニマルセラピー	7月	七夕まつり
8月	夏まつり	9月	敬老会、創立記念日
10月	ドライブ	11月	紅葉狩り
12月	クリスマス会	1月	初詣
2月	節分祭	3月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　的	開　催
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月 7月 10月 1月
事故予防対策 委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止に取り組むことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
感染症対策 委員会	感染症や食中毒の予防及び発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化を目的とする。	毎月1回
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い利用者に対し、情報共有及び適切な対応を行い、発生防止と早期対応を図る。	毎月1回

委員会名	目　　的	開　催
食事サービス委員会	健康状態に配慮した食事内容や食事形態に対応し、多職種連携により行事食や楽しい食事環境を提供する。	毎月1回
入所判定委員会	利用希望者の受入れの可否判断及び優先順位を決定し、利用開始までの流れを円滑に行う。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
災害対策委員会	利用者と職員の安全確保のため、緊急時対応体制を整備し、防災教育を通じて災害対応力の強化を図る。	4月　7月 10月　1月
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	4月　7月 10月　1月
業務継続計画(BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	4月　7月 10月　1月
サービス向上委員会	接遇・法令遵守(ハラスメント)及び介護サービスの質の向上に向けて、総合的なサービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
広報活動委員会	利用者の様子を写真等で記録し、家族へ近況報告を行うとともに、ホームページ等を活用して施設情報を発信する。	4月　7月 10月　1月
レク行事委員会	利用者に季節に応じた行事等を企画・実施する。	毎月1回

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　名	対　象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守(ハラスメント)・接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束、虐待防止について①	全職員	介護主任
7月	認知症について	全職員	介護主任
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア、看取り研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険、ケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束、虐待防止について②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

※　研修に参加できない職員については、後日資料(必要に応じて動画視聴を含む。)とアンケートを配布し、期日までに提出を求める。

事 業 計 画 書

令和８年度
地域密着型特別養護老人ホーム
漫 遊 の 郷

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「地域に根付く運営」

早期に残り1ユニットの満床を目指します。地域密着の特性を生かし、地域のイベントや運営推進会議、外部への施設周知等を通じて、漫遊の郷を身近に感じていただけるよう取り組みます。また、ユニットケアについて施設全体で改めて理解を深め、ケアの質及び職員のスキル向上に努めます。

2. 達成項目

ユニットケアの向上	生産性向上を意識した職員の働きやすい環境づくり	運営推進会議の活用
家族とのコミュニケーション強化	**地域に根付く運営**	稼働率を意識した施設運営
新規入居者の獲得	職員の専門スキル向上	組織力の強化

3. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間をつくり、メリハリのある生活やなじみのある習慣が継続できるよう、時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見	5月	ドライブ(外食)
6月	アニマルセラピー	7月	七夕まつり
8月	夏まつり	9月	敬老会、創立記念日
10月	ドライブ	11月	紅葉狩り
12月	クリスマス会	1月	初詣
2月	節分祭	3月	ひな祭り会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	目　的	開　催
身体拘束適正化委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と施設内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	4月 7月 10月 1月
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切なケア体制の整備を図ることを目的とする。	4月 7月 10月 1月
事故予防対策委員会	事故の未然防止と発生時の適切な対応を図り、再発防止を目的とする。	4月 7月 10月 1月
感染症対策委員会	感染症や食中毒の予防及び発生時の適切な対応を図り、施設内の感染リスクの最小化を目的とする。	毎月1回
褥瘡予防委員会	褥瘡への理解を深め、対象者やリスクの高い入居者への対応策を協議し、発生防止と早期対応を図る。	毎月1回
食事サービス委員会	健康管理に配慮し、食事内容や食事形態に対応するとともに、連携により行事食の提供や楽しい環境づくりを行う。	毎月1回

委員会名	目　　的	開 催
入所判定委員会	入居希望者の可否判断及び優先順位を決定し、入居までの流れを円滑に進める。	毎月1回 (臨時)
衛生委員会	労働災害の発生状況と再発防止策を協議し、災害の未然防止に向けた対策を講じることを目的とする。	毎月1回
生産性向上委員会	業務の効率化と職員の負担軽減を図り、より良い介護サービスを提供することを目的とする。	4月 7月 10月 1月
災害対策 (BCP)委員会	災害や感染症流行時にも介護サービスを継続し、安全確保を図るBCPの策定・運用を目的とする。	4月 7月 10月 1月
サービス向上 委員会	接遇・法令遵守(ハラスメント)や介護サービスの質の向上に向けて、総合的なサービスの質の評価に取り組むことを目的とする。	年2回 (7月・2月)
広報活動委員会	入居者の様子を写真等で記録し、家族へ近況を報告するとともに、ホームページを活用して施設情報を発信する。	4月 7月 10月 1月
レク行事委員会	入居者及び利用者に季節に応じた行事等を企画・実施する。	毎月1回

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守(ハラスメント)接遇研修	全職員	施設長・人事担当
5月	食中毒及び感染症の予防と対策	全職員	看護師・管理栄養士
6月	身体拘束及び虐待防止に関する研修①	全職員	介護主任
7月	認知症について	全職員	介護主任
8月	リスクマネジメント研修①	全職員	施設長・生活相談員
9月	防火防災研修	全職員	防火管理者
10月	感染症予防に関する研修	全職員	看護師
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	全職員	生活相談員
12月	ターミナルケア及び看取りに関する研修	全職員	施設長・看護師
1月	介護保険制度及びケアプランに関する研修	全職員	介護支援専門員
2月	身体拘束及び虐待防止に関する研修②	全職員	介護副主任
3月	リスクマネジメント研修②	全職員	施設長・生活相談員

※ 研修に参加できない職員については、後日資料(必要に応じて動画視聴を含む)とアンケートを配布し、期日までに提出を求める。

事 業 計 画 書

令和８年度
多機能型事業所かみかわ倶楽部
就労継続支援Ａ型　春夏秋冬

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「成長と信頼が循環する事業所づくり」

利用者一人ひとりの成長がサービスの質の向上につながり、その質の向上が地域からの信頼と安定した事業運営を生み、さらに利用者の成長を支える。このような好循環を確立し、成長と信頼が循環する事業所づくりを推進する一年とします。

2. 達成項目

安心・安全な 衛生管理体制の徹底	思いやりのある接客と 顧客満足度の向上	利用者一人ひとりの 就労スキルの向上
利用者が安心して働ける 職場環境づくり	**成長と信頼が循環する 事業所づくり**	出勤率及び定着率の向上
業務の標準化と生産性の向上	地域との連携強化及び集客力 の向上	働く目的の明確化と 意欲の向上

3. 年間行事計画

用者の日々の業務に加え、年間行事を効果的に組み込み、段階的なスキルアップを目指す。

月	行　事　内　容
4月	・接客マナー研修（挨拶・言葉遣い・お辞儀・注文の取り方）
5月	・衛生管理強化月間（手洗い講習・食中毒予防）
9月	・防災訓練（火災訓練・非常時の厨房対応）
12 月	・クリスマス会

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で職員が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活　動　目　標	活動回数
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正対応と事業所内での適切な検討・管理を行うことを目的とする。	年2回
虐待防止 委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切な支援体制の整備を図ることを目的とする。	年2回
感染症対策 委員会	感染症及び食中毒の予防並びに発生時の適切な対応を図り、事業所内の感染リスクの最小化を目的とする。	年2回
業務継続計画 （BCP）委員会	災害や感染症流行時に備え、事業活動の継続と利用者及び職員の安全確保を図ることを目的とする。	年2回

5. 研修

I　法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ　事業所内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり事業所内研修を実施する。

月	研　修　名	対 象	研修担当
4 月	事業報告及び事業計画	全職員	管理者
5 月	宝寿会の理念及び経営方針	全職員	法人本部
6 月	感染症予防研修	全職員	生活支援員
8 月	身体拘束適正化・虐待防止研修	全職員	職業指導員
9 月	災害・避難訓練	全職員	管理者
11 月	BCP 研修	全職員	管理者
1 月	サービス向上の取組	全職員	サービス管理責任者
3月	災害・避難訓練	全職員	管理者

6.　購入または改修

今年度、固定資産の購入及び修繕を予算計上する。

購入または改修	金　額	理　由
ノートパソコン	150,000	使用中のデスクトップ PC の動作が遅く、業務に支障が生じているため

事 業 計 画 書

令和８年度
多機能型事業所かみかわ倶楽部
就労継続支援Ｂ型　わかば

社会福祉法人　宝寿会

1. 事業目標

「利用者が“自分らしく生きる”ための支援の実践」

利用者一人ひとりの思いや希望、生活歴を大切にし、その人らしい暮らしの実現に向けた支援を行います。日々の関わりの中で心身の状態や生活課題を的確に把握し、多職種が連携しながら個々の状況に応じた支援を実践します。利用者が安心して過ごし、自分らしく生きる喜びや意欲を持てるよう支援の充実を図ります。

2. 達成項目

安心・安全な作業環境の整備	作業の質の向上と 工賃向上への取組	個別支援計画の充実と 意思決定支援
権利擁護と虐待防止の徹底	**利用者が“自分らしく生きる” ための支援の実践**	感染症対策及び 健康管理の強化
身辺管理と生活習慣の 確立支援	災害対策及びBCPの 実効性向上	心身の安定と 居心地の良い環境づくり

3. 年間行事計画

季節に応じた行事やレクリエーションを実施し、利用者が楽しみを持って通所できる環境づくりを行う。また、利用者同士や職員との交流を深めるとともに、地域社会との関わりを持つ機会を設け、社会参加や自己肯定感の向上を図る。

月	行事内容
4月	・桜花園散策
6月	・猪篠あじさい散策
7月	・七夕イベント
9月	・敬老会・感謝イベント(うぐいす荘にて歌やレクリエーション)
11月	・紅葉散策
12月	・クリスマス会(ビンゴ大会・手作りケーキ)
1月	・初詣
2月	・節分イベント(豆まき)
3月	・生野町銀谷まつり(ひな人形展示)散策

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、各委員会で職員が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活動目標	活動回数
身体拘束適正化 委員会	身体拘束ゼロを目指し、必要に応じた適正な対応と事業所内での適切な議論・管理を行うことを目的とする。	年2回
虐待防止委員会	利用者の権利を守り、虐待や身体拘束の防止と適切な支援体制の整備を図ることを目的とする。	年2回

委員会名	活　動　目　標	活動回数
感染症対策 委員会	感染症や食中毒の予防及び発生時の適切な対応を図り、事業所内の感染リスクの最小化を目的とする。	年2回
業務継続計画 (BCP)委員会	災害や感染症流行時にも障害福祉サービスを継続し、安全確保を図る業務継続計画(BCP)の策定・運用を目的とする。	年2回

5. 研修

Ⅰ 法人研修

法人全体で実施する研修については、別紙に定める法人研修計画に基づき実施する。

Ⅱ 施設内研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを提供していくため、担当職員が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研　修　名	対 象	研修担当
4 月	事業報告及び事業計画	全職員	管理者
5 月	宝寿会理念及び経営	全職員	法人本部
6 月	感染症予防研修	全職員	生活支援員
8 月	身体拘束廃止、虐待防止研修	全職員	職業指導員
9 月	災害・避難訓練	全職員	管理者
11 月	BCP 研修	全職員	管理者
1 月	サービス向上取り組み	全職員	サービス管理責任者
3月	災害・避難訓練	全職員	管理者